

## 「有機顔料中に副生するPCBに関するリスク評価検討会」開催



厚生労働省、経済産業省、環境省の3省は、平成24年3月23日に第一回目となる有機顔料中に副生するPCBに関するリスク評価検討会を開催しました。

今後のスケジュールの見込みは、4～5月を目途に暫定的なリスク評価の検討を取りまとめ、その後、年内に詳細なリスク評価の結果を取りまとめる予定となっています。また、別途、有機顔料中に副生するPCBの上限値及び追加的な措置の必要性についても検討会を開催し、専門家の意見を聴取しつつ検討を行うとされています。

### (経緯)

平成23年1月：ETAD(染料・有機顔料製造者生態学毒性学協会)から、ある種の顔料が製造の際に非意図的にPCBを生じうるとする旨の報告書が公表されました。

同年6月：この報告を受け、化成品工業協会は主要な加盟者(有機顔料の製造・輸入事業者)に分析を依頼しました。

同年12月：主要6社の分析結果がまとまり、ある種の顔料中に微量のPCBが含有されることが確認されました。

平成24年2月：厚生労働省と経済産業省はこれらの結果を取りまとめて発表するとともに、PCBを50ppmを超えて含有する顔料について出荷の停止と回収の行政指導を行いました。

当社では、排水中のPCB分析を承っておりますが、有機顔料中の副生PCB分析についても検討中です。お気軽にお問い合わせください。

資料 2012年3月16日付 厚生労働省 HP 報道発表資料

化学分析箇所 山本倫大

### 放射性物質の測定を開始しました!

福島第一原発事故を受け、高まる需要にお応えし、放射性物質の測定を開始しました。サーベイメータによる工業製品の表面汚染や、水・食品などの放射能測定、さらに8月末からはゲルマニウム半導体検出器を用いた核種ごとの精密測定も開始しています。